

いたわり

2010年10月号, No 117
くりのキュート(救)健康新聞

くりのキュートの健康教室

第232回「くりのキュート王名店健康教室」
〈日時〉10月27日(水) 午後2時~3時
〈場所〉くりのキュート 王名店 2階 健康教室

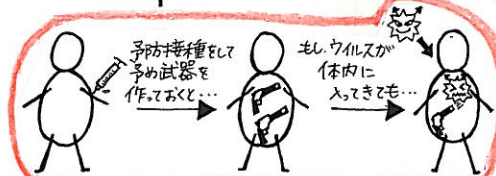
第15回 第16回「緑の輝きバスツアー」
〈日時〉10月18日(月) } 午前10時~午後3時
10月25日(月) }
クロレエ場見学 → 自然食バキング「ティアム川店」

第13回「マザーの会」(3歳児・母乳育児3室)
〈日時〉11月1日(月) 午後1時30分~3時
〈場所〉くりのキュート 王名店 2階 健康教室
〈講師〉むなかた助産院 助産師 賀久はつ先生



予防接種を受ける前に・・・

インフルエンザの季節がまたやってきました。去年はよく「予防接種を受けたのか」という声を聞きました。



インフルエンザの予防接種に使われるワクチンは「不活化ワクチン」という化学処理によりウイルスの毒性を無くしたものです。ウイルス自体は死んでいるので、注射してもインフルエンザの症状は出ませんが体内ではインフルエンザウイルスと闘うための「抗体」という武器が作られます。

すでにウイルスと闘った状態なので、ウイルスが増殖し重症化するのを防ぐ事ができます。ワクチン接種により体内で作られる武器(抗体)の数は、実際にかかった時と比べると、それほど多くなく3~4ヶ月たつと次第に減っていき、武器(抗体)の材料は体内のタンパク質。せっかく予防接種を受けたも栄養状態が悪かったり、体調が万全でない、ウイルスと闘うためのしつかりとした武器が作られず、ワクチンの効果が十分に得られません。そればかりか場合によってはワクチンの副作用が現れることがあります。

そこで... 予防接種を受ける前に「BCEx 503」を!!

インフルエンザの予防や回復を早め503ですが、体内のタンパク質の合成を高める働きもあるため、予防接種の前に飲んでおくと武器(抗体)もしっかり作られます(※ 予防接種の前日の夜に1本飲みます。予防接種を受けたい方は1週間に1本おつ飲む事でインフルエンザの予防をします!)

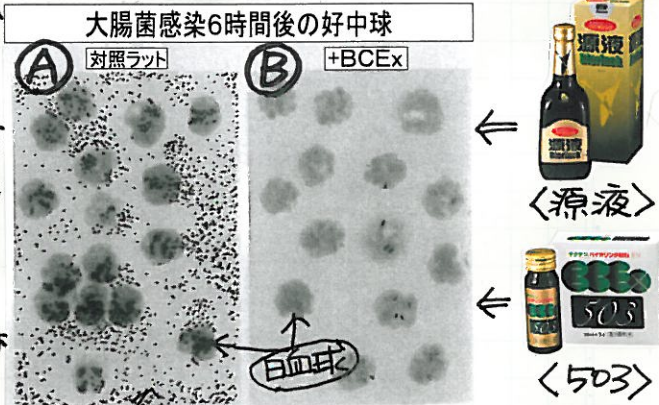
多剤耐性菌に勝つ!

多くの抗生物質が効かない「多剤耐性菌」(スーパー耐性菌)が最近よく話題になっています。日本の製薬会社は、70年代から80年代にかけて、抗生物質を盛んに開発しました。どんどん病院でも処方され、ちょっとした風邪や病気でも、細菌感染の予防として出され、言わば「乱用」されてきました。

しかし、細菌も生き物であり、自らの生存をかけて抗生物質に負けまいと戦ってきた結果、耐性も獲得しました。つまり抗生物質が効かない菌へと強く生れ変わったのです。そこでまたその菌を殺す為に違う抗生物質が開発されます。するとその薬に耐性をもった菌ができて、そのようにしてイタチゴッコをくり返し、とうとう「どんな薬も効かないスーパー耐性菌」が現れたのです!

東京都の帝京大病院では、感染者58人の内34人が死亡しました(11.29.15日現在) 世界保健機関(WHO)も世界中に監視を呼びかけています。この「スーパー耐性菌」は人間の体内や周辺に普通に存在し通常は害を及ぼしません。抗生物質に敵対する菌なので、他の菌との生存競争はしないのです。そこへ抗生物質という敵が現れると、周囲にいた他の菌は皆殺され、スーパー耐性菌が勢いを上げる環境が整え、一気に増殖します。スーパー耐性菌が爆発的に増えると腎臓まで炎症を起し、血液に乗って敗血症になることもあります。様々な死に直結した病気になるやうなと言います。スーパー耐性菌に感染し発病したら、医療現場はどうするの? 帝京大 松本哲哉教授は「複数の薬を試しながら効く薬を探す。それがいい場合は対症療法を続けながら患者の免疫が細菌に打ち勝つのを待つしかない」と話しています。

結局は本人の「免疫力」なので、免疫力は加齢、ストレス、不健康な食生活などで簡単に落ちます。私達は常にスーパー耐性菌の脅威にさらされているのです。そこで、キュートおすめ BCEx 製剤(源液・503) 右の図は2匹のラットに大腸菌を感染させた白血球(好中球)の写真です。Aのラットは何も与えなかった所、6時間後は大腸菌が大量に増殖しています。Bのラットには BCEx を与えておいた所、6時間後は白血球が大腸菌を処理してしまい、ほとんどなくなっています。



つまり、BCExには白血球の働きを活発にして細菌をやっつける効果があるのです! 抗生物質が効かないスーパー耐性菌でも私達の白血球が強ければ、ちゃんと退治してくれます。日頃から「源液」向かあった時の503はちゃんと私達の体を守ってくれます!!

